

# 令和5年度 南九州市当初予算

**一般会計 270億2,600万円 (対前年度比+11.1%)**  
**特別・企業会計 132億4,960万円 (対前年度比△ 0.8%)**

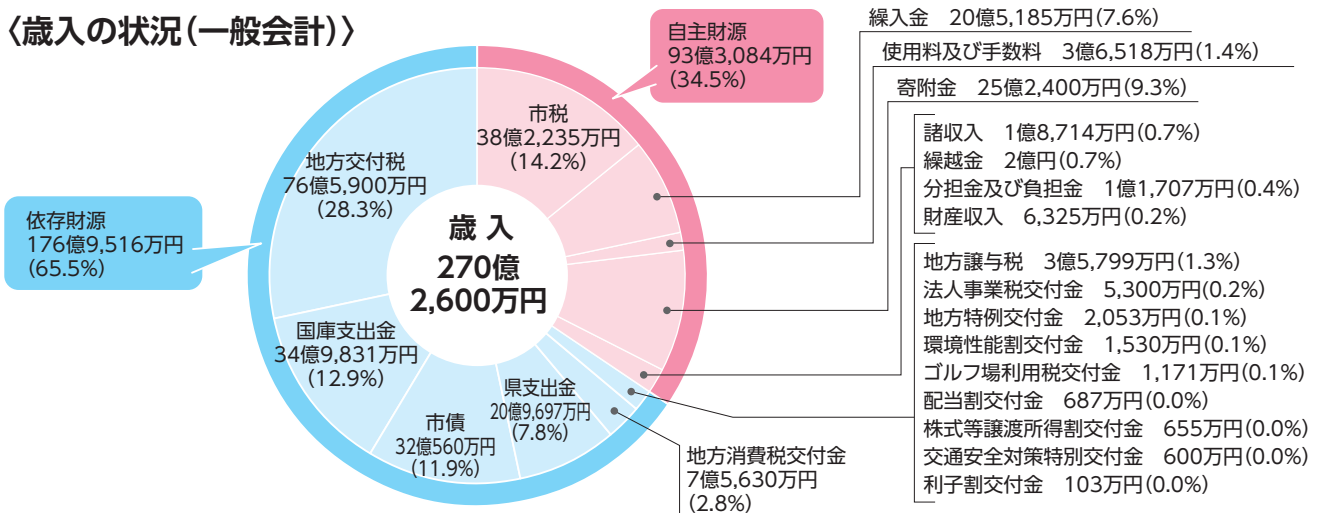
南九州市の令和5年度当初予算は、行政改革大綱、集中改革プランおよび中期財政計画に基づき、長期的視点に立った持続可能で健全な財政運営に努めるとともに、第二次総合計画において掲げた都市将来像の実現に向けた諸施策を確実に推進するため、選択と集中を徹底したメリハリのある予算編成としました。

特に、地域の発展と住民福祉の向上を図るため、「子育て支援の充実」、「産業・観光の振興」、「効率的な行政運営の推進」などに重点的に予算配分を行い、ウィズコロナの下、激変する社会経済情勢や高度化・多様化・複雑化する行政需要に創意工夫を以って的確に対応していきます。

このようなことを踏まえた一般会計の総額は270億2,600万円で、前年度比11.1%、27億349万1千円の増と積極的な予算編成となりました。また、一般会計と特別会計および企業会計を合わせた予算総額は、402億7,559万9千円、前年度比6.9%、26億250万6千円の増となりました。

## 令和5年度当初予算の歳入歳出状況

### 〈歳入の状況(一般会計)〉



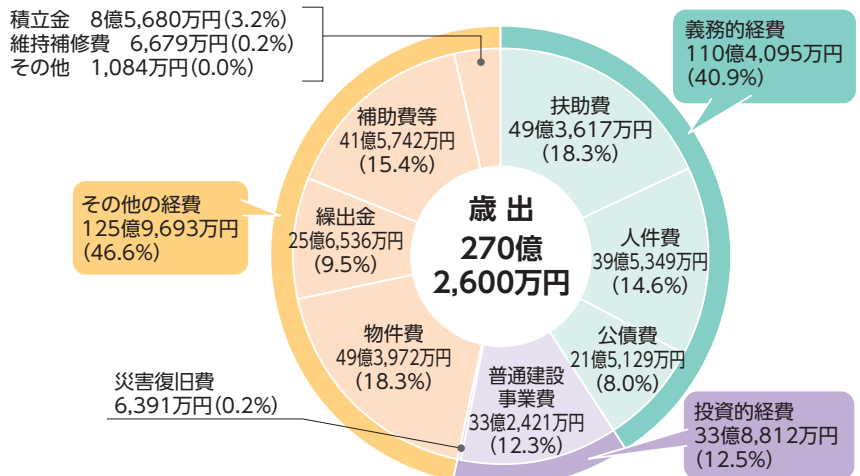
歳入は、国や県から交付されるお金である「依存財源」と呼ばれるものが総額の65.5%を占めています。依存財源のうち、最も多いものは、地方自治体が一定水準の行政サービスを保つために国から交付される地方交付税で、全体の28.3%を占めており、以下、国庫支出金、市債(借金)、県支出金の順となっています。

一方、市が自ら賄えるお金である「自主財源」のうち、最も多いものは、市民の皆さんに納めていただく市税で、全体の14.2%を占めています。寄附金の主なものはふるさと寄附金によるもので、前年度に対して1.1ポイントの増となっています。

### 〈性質別歳出の状況(一般会計)〉

歳出を性質別に見ると、扶助費、人件費および市債(借金)の償還を行う公債費で構成される「義務的経費」と呼ばれるものは、全体の40.9%を占めており、いずれも減となったことで、前年度に対して5.5ポイントの減となりました。

道路整備や基盤整備など「投資的経費」と呼ばれるものは、全体の12.5%で、前年度に対して0.8ポイントの増となりました。これは、新庁舎建設および顕娃運動公園多目的広場整備などが増となったことによるものです。また、委託料や備品購入費などの物件費については、前年度に対して1.0ポイントの増で、全体の18.3%を占めています。



## 〈目的別歳出の状況（一般会計）〉

区分	令和5年度	令和4年度
民生費	76億9,109万円 (28.5%)	77億5,279万円 (31.9%)
衛生費	36億499万円 (13.3%)	22億4,815万円 (9.2%)
総務費	32億307万円 (11.9%)	43億9,668万円 (18.1%)
教育費	25億6,412万円 (9.5%)	21億630万円 (8.6%)
公債費	21億5,129万円 (8.0%)	22億3,416万円 (9.2%)
商工費	20億9,042万円 (7.7%)	3億1,182万円 (1.3%)
土木費	19億4,056万円 (7.2%)	16億819万円 (6.6%)
農林水産業費	16億4,994万円 (6.1%)	15億5,727万円 (6.4%)
消防費	10億3,583万円 (3.8%)	11億4,116万円 (4.7%)
議会費	1億6,110万円 (0.6%)	1億6,316万円 (0.7%)
諸支出金	8億5,693万円 (3.2%)	7億7,788万円 (3.2%)
予備費	1,000万円 (0.0%)	1,000万円 (0.0%)
災害復旧費	6,666万円 (0.2%)	1,495万円 (0.1%)

歳出を目的別に見ると、最も大きな割合を占めるのが、市民の皆さんが安心して暮らすための福祉の充実などに使われる民生費です。前年度に対して**3.4ポイントの減**で、全体の**28.5%**を占めています。

次に多いのは衛生費で全体の13.3%を占め、**南薩地区新クリーンセンター建設に伴う一部事務組合負担金の増**により、前年度に対して**4.1ポイントの増**となりました。

以下は総務費、教育費、公債費、商工費、土木費、農林水産業費、消防費の順となっています。

なお、商工費と総務費の増減は、主にふるさと寄附金事業費の計上費目の移し替えによるものです。

## 会計別の当初予算額

区分	令和5年度	令和4年度	比較	
			増減額	増減率
一般会計	270億2,600万円	243億2,250万9千円	27億349万1千円	11.1%
特別会計	117億2,440万円	118億7,210万円	△1億4,770万円	△1.2%
国民健康保険事業特別会計	55億8,500万円	56億9,700万円	△1億1,200万円	△2.0%
後期高齢者医療特別会計	6億3,940万円	6億4,670万円	△730万円	△1.1%
介護保険事業特別会計	55億円	55億2,840万円	△2,840万円	△0.5%
企業会計	15億2,519万9千円	14億7,848万4千円	4,671万5千円	3.2%
水道事業会計	11億5,156万円	11億3,786万4千円	1,369万6千円	1.2%
公共下水道事業会計	2億2,611万3千円	2億2,887万4千円	△276万1千円	△1.2%
農業集落排水事業会計	1億4,752万6千円	1億1,174万6千円	3,578万円	32.0%
合計	402億7,559万9千円	376億7,309万3千円	26億250万6千円	6.9%

## 令和5年度当初予算を市民1人当たりに換算すると・・・

市民1人当たりが負担する市税

総額 **115,730円**

※金額は、令和5年2月28日現在の住基人口(32,597人)で計算しています。(鈷産税、国有資産等所在市町村交付金は除く)

市民1人当たりに使われるお金

総額 **829,095円**

※金額は、令和5年2月28日現在の住基人口(32,597人)で計算しています。



固定資産税  
**68,841円**



市民税  
**35,615円**



民生費  
**235,945円**



衛生費  
**110,593円**



総務費  
**98,263円**



教育費  
**78,661円**



市たばこ税  
**6,234円**



軽自動車税  
**5,040円**



公債費  
**65,997円**



土木費  
**59,532円**



農林水産業費  
**50,616円**



消防費  
**31,777円**



その他  
**97,711円**



# 令和5年度

## 当初予算の特徴

南九州市では、将来都市像である「人と自然が共生する 活気あふれる 住みよいまち 南九州市」を目標として掲げ、南九州市総合計画に基づき、まちづくりを進めています。ここでは、令和5年度の当初予算の特徴について紹介します。

### 子育て支援の充実

#### 1 地域子育て交流館事業

新規

【2889万円】

新しく整備された地域子育て交流館において、放課後児童健全育成事業、地域子育て支援拠点事業、一時預かり事業等を実施し、児童の健全育成を図ります。



#### 2 学校給食費補助事業

【1億1448万円】

小・中学校および特別支援学校に在籍する児童生徒の学校給食費を補助することで、保護者の経済的負担を軽減し、子育て支援を図ります。

#### 3 颯娃運動公園多目的広場整備事業

一部新規

【1億5497万円】

颯娃運動公園プール跡地を活用して多目的広場を整備し、遊具や休憩所の建設により、子どもから高齢者まで幅広い年代がくつろげる空間を創出します。

### 教育環境の充実

#### 1 小・中学校ICT推進事業

【5947万円】

プログラミング教材やオンライン教材、授業支援クラウドなどICT関連の機器を最大限に生かし、学力の向上とともに児童生徒の情報活用能力の向上を図ります。



#### 2 市内高等学校活性化事業

【503万円】

市内3つの高等学校の活性化を図るため、各活性化協議会の活動費を補助するとともに、在校生が受検する各種検定の受検料の一部を助成することで、地域の活性化と人材育成を目指します。

### 住みやすいまちづくりと移住・定住対策の充実

#### 1 まちづくり事業

【1102万円】

自治会等の地域コミュニティ組織や住民のコミュニティ団体が実践するまちづくり事業や地域課題解決事業、魅力づくり事業に対する支援を行い、活気あふれるまちづくりを目指します。

#### 2 移住定住促進対策事業

一部新規

【5926万円】

市内におけるマイホームの取得費用や、住み替え住宅のリフォーム費用、子育て転入世帯の家賃のほか、市内に居住する新婚世帯の家賃や引っ越し費用等に対し補助金を支給することで、若年層の移住定住を促し、地域の活性化を図ります。

### 産業の振興

#### 1 新規就農者確保対策事業

新規

【1629万円】

本市の農業の魅力を発信し、就農希望者を呼び込むことにより地域活性化を図ります。

#### 2 サツマイモ基腐病対策支援事業

新規

【355万円】

サツマイモ基腐病発生抑制効果のある種イモの蒸熱処理費用の一部助成や残渣処理場を設置しサツマイモ残渣を適正に処分することで、サツマイモ基腐病被害の抑制を図ります。

### 観光の振興

#### 1 アウトドア事業

一部新規

【9276万円】

アドベンチャーパーク森のかわなべの開園と岩屋公園内バーベキュー棟の建設により、滞在時間と観光消費額の拡大を図ります。

#### 2 サイクルツーリズム推進事業

【572万円】

安全で快適な新しい旅行スタイルを実現するため、自転車利用の促進、サイクルツーリズムの環境整備を行い、広域周遊による滞在時間と観光消費額の拡大を図ります。

### 効率的な行政運営の推進

#### 1 新庁舎建設事業

一部新規

【4億5914万円】

新庁舎建設に向け、新庁舎の実施設計業務委託のほか、敷地造成工事などの取りまとめや管理を行います。